

平成 17 年度第 9 回（12 月）理事会議事録

◇日 時：平成 17 年 12 月 8 日（木）午後 6 時 32 分～7 時 50 分

◇会 場：社団法人大阪府臨床検査技師会事務所

◇出席者：森嶋、今井、辻、運天、吉本、大垣、清水、竹浦、岡本、荒木、田畑、山内、高橋、出野、井戸田、山田、北中、東野、田中

◇欠席者：高田

◇議 長：森嶋

討議内容

I. 行動報告（11 月分）

別紙参照

II. 経過報告

1. 日臨技

①総務関連

- ・平成 17 年度代議員会を 18 年 1 月 28 日に開催。

②学術関連

- ・NST 研修会を 18 年 2 月 18・19 日に開催。
- ・第 55 回医学検査学会（島根県）で POC セミナーを開催。

③渉外関連

- ・厚生労働省において法改正後の省令委任等に関する諸問題を検討。
- ・認定センター設置準備委員会を開設。
- ・認定技師制度に関連し、日本染色体遺伝子検査学会及び日本人類遺伝学会と懇談予定。

④国際関連

- ・海外交流実態調査に関し、近臨技で実施しているアジア研修(タイ国・マヒドン大学)へ小左崎会長を派遣。
- ・JIMTEF 主催国際セミナー(タイ国・マヒドン大学にて開催予定)に共催参画予定。
- ・IFBLS 学会:於、韓国・2006 年:シンポジウムへ座長及び演者を派遣予定。

2. 近臨技 開催日（12 月 14 日）

- ・特記事項無し

3. 事務局

総務部 部会開催（11 月 8 日）

庶務

- ・12 月理事会の開催準備を行った。
- ・社団法人設立 20 周年記念式典の開催準備を行った。

広報

- ・大臨技ニュース 12 月号の発行を行った。
- ・ホームページの更新を行った。
- ・平成 18 年度事業・予算案について協議した。

会計

- ・10 月度収支計算書を作成した。
- ・18 年度予算書作成。

渉外部 部会開催（11 月 15 日）

- ・11 月 30 日に手話講演会を開催した。（出席者 32 名）

- ・ 献血推進活動日を2月18日とした。
- ・ 大放技合同フォーラムの進捗状況を確認した。
- ・ 18年度事業の確認。

4.事業局

情報組織部 部会開催（11月17日）

- ・ 11月19日に大臨技フォーラムを開催した。
- ・ 情報組織部担当の新規事業について提案内容の検討を行った。
- ・ 新規に部員を登録した。

地区事業部 部会開催（11月17日）

- ・ 会員交流会(於12月3日(土)14:30~17:30、大阪労災病院3階講堂)の最終打ち合わせを実施した。交流会当日の参加者数は21名と少なく、交流会の意義が問われる結果となった。
- ・ 施設連絡者会議(於3月25日)の打ち合わせを実施した。
- ・ 11月30日開催予定の第18回中央支部自由集会とチーム医療パス部会との合同開催事業についての最終協議を終え、開催時間を18:30~19:45、会場をあべのメディックス7階とした。

学術部

- ・ 特記事項無し

III. 他、報告

1. 第47回近臨技学会準備委員会について

12月3日に京都にて検査医会（岩谷氏、渡辺氏、佐守氏）と当会（森嶋会長、今井副会長、清水理事）との学会について話し合いを行った。合同開催をすることを前提として「合同開催準備委員会」を作って検討していく。第1回の会議の予定は2月17日、場所は阪大の保健学科。合同学会で日程は1.5日（土曜日の午後から日曜日）準備段階から合同で行なう。会議の構成メンバー：各学術部の部会の責任者と学術担当理事と会長、副会長、近臨技会長の立脇氏、学術担当理事向井氏。両会で企画委員会とプログラム委員会を立ち上げてシンポジウムを作っていく。抄録を一本化するためにシステムをどうするか次回検討する（吉本常務理事出席）。会場費等についてトップ会談を2月17日までに進行予定で日程調整をしている。

2. 18年度大臨技事業日程について

大臨技事業日程と重複している学術部事業（3分野）の調整を山内理事へ一任し学術部で調整する。3月大臨技ニュースに掲載のため2月5日、締切とする。

3. 府民健康フォーラムについて

約300人の出席があり、内容的にも検査技師の仕事についてPRになった。生活習慣病等について薬剤師、検査技師、栄養士の立場から解りやすく説明がなされていた。今後も継続開催を希望する。

4. 大阪府地域医療推進協議会からの署名依頼について

「国民皆保険制度を守る署名運動」で集まった署名を今週末医師会へ提出する。

5. その他

採血事故での訴訟の報告があり、大臨技で採血の勉強会等を考える。

国際貢献専門委員会を2回開催した。（明日第3回開催）西アフリカの情報が少ない為に、収集作業を行っている。

1月26日から2月7日に来日予定（6カ国12名、検査技師と政府高官のペア）期間中に聞き取り調査を実施し、研修プランニングの参考にする。

IV. 議題

1. 法人設立20周年記念式典の進捗状況について

第3回実行委員会（12月6日）の議事録にのっとり進捗状況・参加者用名札及びリボン・当日役割分担・一般参加者への広報・余興・収支予算等の説明があり了承された。記念式典リーフレットの内容を確認し、岡本理事へ12月16日までにメールを送る。

2. 18年度学術部内組織編成について

来年度より学術部構成を 1.臨床化学検査部門 2.免疫血清検査部門 3.生理機能検査部門 4.病理細胞検査部門 5.一般検

査部門 6.血液検査部門 7.微生物検査部門 8.輸血検査部門 9.検査管理システム部門 10.チーム医療部門（糖尿病療養部会・ICT部会・NST部会・パス部会・生殖医療部会）とすることを承認した。

3. 役員任期の変更について

役員任期を定款どおり 6月 1 日より 5 月末日とする。事業等は会計年度（4 月 1 日より 3 月末日）とする。

4. その他

- ・学術部一般検査分野より特別事業 [平成 18 年 2 月 21 日、一般検査（尿沈渣）の技術習得] の提案があり了承された。

以上